片山真理《25 days in tatsumachi studio / 鈴木薬局 眼鏡部 Suzuki Pharmacy Optometry #002》2015 年
© Mari Katayama Courtesy of rin art association

Theme of 2020

VISION

KYOTO GRAPHIE international photography festival

京都で開催される写真フェスティバル「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2020」のプレスリリースをお送りします。貴媒体にて情報のご掲載やアーティストへの取材をご検討いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2020 開催のご案内

第 8 回テーマ「VISION」
国内外にて第一線で活躍するアーティストが、京都市内の趣きあふれる建造物にて新作や撮りおろしを発表

世界屈指の文化都市・京都を舞台に開催される、日本でも数少ない国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」。国内外の重要作家の貴重な写真作品や写真コレクションを、趣きのある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展示する本写真祭も、回を重ねるごとに好評を博し第 7 回までに約 73 万人の方にご来場いただき、2020 年に第 8 回目を開催する運びとなりました。

2020 年のテーマは「VISION」です。

みなさまのお越しをお待ちしております。

KYOTOGRAPHIE 共同創設者 / 共同代表
ルシール・レイボーズ & 仲西祐介

開催概要

名称：**KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2020**
英語表記 : KYOTOGRAPHIE International Photography Festival 2020

会期：**2020 年 4 月 18 日（土）– 5 月 17 日（日）**
プレス向け内覧会：4 月 17 日（金）

主催：一般社団法人 KYOTOGRAPHIE
共催：京都市（予定）、京都市教育委員会（予定）

メインスポンサー：ビー・エム・ダブリュー株式会社
プレミアムスポンサー：シャネル合同会社
協賛：ルイナール（MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社 ）、株式会社マツシマホールディングス、ハースト婦人画報社、アニエスベー　他

※全てのプログラム内容・展覧会名・会場・スポンサーの情報は 12 月 4 日現在のもので、予告なく変更になる可能性がございます。また後日追加情報を発表いたします。

サテライトイベント
「KG＋（ケージープラス）」では
市内約 100 箇所での写真展が集結

KG＋は、これから活躍が 期待される写真家やキュレーターの発掘と支援を目的に、2013 年よりスタートした公募型アートフェスティバルです。昨年プログラムを一新し、2020 年に 8 回目を迎えます。京都から新たな才能を世界に送り出すことを目指し、意欲ある参加者を広く募集して展覧会を開催いたします。
また、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭との同時開催や連携を通して、KG＋参加アーティストに、国際的に活躍するアーティストや、国内外のキュレーターやギャラリスト、そしてパブリッシャーとの出会いの場と情報発信の機会を提供します。さらに、参加型のプログラムを実施し、来場者や市民が写真芸術文化に親しむ環境をつくります。
元・京都市立淳風小学校を始め、市内各所で展開される多様な表現が地域と訪れる人々をつなげ、新たな発見や交流がうまれることを期待します。

お問い合わせ、取材のご依頼、掲載写真のご用命は
下記までお問い合わせください。

KYOTOGRAPHIE 事務局
Tel. 075-708-7108 | Fax. 075-708-7128
〒 602-0898 京都市上京区相国寺門前町 670 番地 10
http://www.kyotographie.jp

プレス担当

須田千尋（CHIHIRO SUDA INC）| 東京
chihiro@chihirosuda.com
市川靖子 | 東京
i@iroiroiroiro.jp
木薮 愛 | 関西
ai.kiyabu@kyotographie.jp

※全てのプログラム内容・展覧会名・会場・スポンサーの情報は 12 月 4 日現在のもので、
予告なく変更になる可能性がございます。また後日追加情報を発表いたします。

プログラム
EXHIBITIONS

1. **オマー・ヴィクター・ディオプ |Omar Victor Diop**（セネガル）
2. **マリー・リエス | Marie Liesse**（フランス）
   キュレーター：天田万里奈
3. **ピエール＝エリィ・ド・ピブラック | Pierre-Elie de Pibrac**（フランス）
   presented by CHANEL NEXUS HALL
   キュレーター：インディア・ダルガルカー
4. **福島あつし | Atsushi Fukushima**（日本）
5. **マイムーナ・ゲレシ | Maïmouna Guerresi**（イタリア）
6. **アルフレッド・ジャー | Alfredo Jaar**（チリ）
7. **甲斐 扶佐義 | Kai Fusayoshi**（日本）
8. **Post Fukushima — A conversation between Atsunobu Katagiri and Kazuma Obara（仮）**
   片桐功敦 | Atsunobu Katagiri（日本）／ **小原一真 | Kazuma Obara**（日本）
9. **片山真理 | Mari Katayama**（日本）
   キュレーター：サイモン・ベーカー
10. **ウィン・シャ | Wing Shya**（香港） presented by BMW
    キュレーター：カレン・スミス
11. **マリアン・ティーウェン | Marjan Teeuwen**（オランダ）
12. **植田正治 | Shoji Ueda**（日本）
    キュレーター：佐藤正子
13. **ルイナール展 | Ruinart Exhibition** presented by Ruinart

1
オマー・ヴィクター・ディオプ
© Omar Victor Diop, Courtesy of Magnin-A Gallery.

2
マリー・リエス
Musée Rodin. With both hands, Louis studies the hollows and protrusions of the sculpture shaped by the hands of Rodin. Musée Rodin. Paris. France . 2013 © Marie Liesse

3
ピエール＝エリィ・ド・ピブラック
© Pierre-Elie de Pibrac / Agence Vu'

4
福島あつし
© Atsushi Fukushima

5
マイムーナ・ゲレシ
《The Golden Door》2011 年
© Maïmouna Guerresi, Courtesy Mariane Ibrahim Gallery

6
アルフレッド・ジャー
The Skoghall Konsthall, 2000
Public intervention, Skoghall
Courtesy the artist, New York

7
甲斐 扶佐義《傘投げ遊び》1978年
© Kai Fusayoshi

8
片桐功敦
《Sacrifice》2013 年

8
小原一真
《Waves and Home》2011-2019 年

9
片山真理
《25 days in tastumachi studio / 鈴木薬局 眼鏡部 #002》
2015 年
Mari Katayama Courtesay of rin art association

10
ウィン・シャ
《In the mood for love》2000 年
Courtesy of Wing Shya.

11
マリアン・ティーウェン
《Destroyed House Krasnoyarsk 1》2010 年

12
植田正治
《パパとママとコドモたち》1949 年
© Shoji Ueda Office

13
ルイナール展（参考画像）
Vik Muniz × Ruinart「Shared Roots」展覧会風景
会場：ASPHODEL | 2019 年